

3年生…
明日はいよいよ…
自分を確かめる日

富士見市立西中学校 学校だより 3月号 #18 (卒業おめでとう…)

令和8年03月12日
第18号
生徒数/394名
文責/堀川博基



みずほの丘の希望

西中職員指導理念/生徒活動指針 Action/踏み出す力 Thinking/考え抜く力 Teamwork/協働する力

令和7年度富士見市立西中学校第47回卒業式 赤いハートを一生の糧に…!

毎年の事ではあるが…11月～2月まで毎日のように、受験対策の面接練習を実施する。「志望動機」や「高校で一番頑張ること」等は必ず質問するが、西中での生活を確認するために「西中の特徴」や「よいところ」等の質問も織り交ぜる。今年も多くの生徒に対して「西中を色で例えると何色?」という「問い」を投げかけた。想像どおり90%以上の生徒が、「赤」若しくは「RED」と答える。その理由は「情熱の赤」「いつも燃えているから」「熱く燃える炎のよう」「とにかく熱い」と…。「あなたはストーブか!」と突っ込みたくなるほど、「赤」と直結するイメージが生徒の口からあふれてくる。「挑戦し続けるハート学年」のスローガンが浸透し、集団で活動することが大好きな赤ジャ133名の諸君、いよいよ明日、君たちは義務教育最後の日(正式には3/31)、すなわち中学校卒業の日を迎える…。義務教育の日数と中学校の正式な在籍日数を算出してみた。義務教育9年間は、3287日(78,888時間)、うち中学3年間は1096日(26,304時間)となった。「たったの…」と感じるかもしれないが…15年間という君たちの人生にとっては60%を支配する時間だ。多分…きっと、大きな成長を遂げている時間だと信じている。もちろん身体だけではなく、心も精神も…。卒業式というこの日、義務教育9年間で君たちがどのように成長したかを問われる節目の日でもある…。義務教育の成果が現れる大切な1日でもある。その卒業という日の前日…赤ジャの諸君に対し最後のメッセージを残す。校長となり、ほぼ毎年同様のメッセージを残してはいるが、それは卒業を迎える君たちに、絶対に伝えなくてはいけないという信念からだ…。

■2026.3.13朝(天気は晴のち曇、気温3℃程度/3.12時点での予報から)、少し寒いし、花粉もきついかもかもしれないが…、縮む身体を奮い立たせ自分の力で起床しろ。そして窓を全開にし、新鮮な酸素を深く吸い込め。ピリッとした空気の中…「今日という1日をどう生きるのか?」「最後の授業…卒業式にどう挑むのか?」「最高の仲間とこの日をどう送るのか?」…卒業の1日をイメージしろ。大きなランドセルを持って余し家族に手を引かれながらの小学校入学から、今日までの自分を想起し卒業式に臨め。4月1日からの新しいステージで躍動する自分、カッコいい自分を想像し、ちょっと先の未来を意識して卒業式に向かえ。義務教育最後の1日、未来の家族に語ることでできるくらい熱い1日にしてほしい。■緊張の1日だ、朝食をしっかりと摂れ。そしていつもより身だしなみを念入りに整えろ。特に女子生徒、前髪は命だろ。さあ、照れずに玄関先で家族と向き合え。そして大きな声で「ありがとうございました」と心から叫べ、頭を垂れる。義務教育最後の日、君たち以上に「成長」という2文字に敏感なのは、ここまで君たちを育て支えてきた家族だ。この日は家族にとっても節目となる「卒業」という1日なのだ。そんな家族の想いに応えられない君たちであれば、これまでの義務教育9年間など何の意味も持たない…。■最後の登校…。この通学路の景色を、匂いを、音を…脳裏に刻め。そして一緒に通う友を、遠くから見守る人たちを感じながら「歩」を進めろ。地域の多くの方々がどれだけ君たちを気にかけてくれたかがわかるはずだ。これから地域をリードする君たちだ、支えてくれたすべての人たちに、心から礼を尽くせないようであれば…感謝を伝えられないようであれば…4月からの新ステージでは、全く通用しない人間でしかない。■教室で顔を合わせる赤ジャの仲間たち。この先の人生において133名全員が顔を合わせるのは、間違いなく明日が最後であろう。義務教育最後の日、君は仲間とどのように臨むんだ。「笑顔で…」「感動で…」「涙で…」「歓びで…」…どんな感情の高まりがそこにあっても構わない。ただ、そこに「友」がいる幸せを心から感じる…。少なくとも君が今まで無事に学校生活を送ってこられたのは、絶対に「友」のおかげだ。忘れるな、明日、卒業する133名が赤いハートでつながった一生の「友」であることを…。■そして…君たちの中学校生活を支えてくれた西中教職員に対し君たちの気持ちを伝えてほしい。特に3学年担当職員7名+みとせの職員は、心穏やかではない。明日という日を迎えるにあたり、君たちとの日々が走馬灯のように巡っている。照れることも、かっこつけることも、恥ずかしがることもない。ただ、素直に、直向きに、率直な気持ちを、眼の前の職員に伝えてくれ…。たったそれだけで私たちは報われる…。なぜなら、それは「先生だから…」。なぜなら、それは「君たちを愛しているから…」。義務教育最後1日は、私たちにとても自分の「志」の真価が問われる1日でもある。

青・緑の在校生諸君、「RED」の雄姿を脛に焼き付けろ。いつも真面目で、心優しく、友が大好きで、先生を慕い続け、勉強も大好きな、とにかく克己心の強い…燃えたぎる「赤いハート」を…。いま、西中の運命は青ジャ・緑ジャの両腕に受け継がれた…。前へ前へ「歩」を進めろ。西中50年という新たなフェーズへの飛躍は、青と緑の助走からはじまる。考えて、考えて、考えて、考え抜いて事運ぶ赤ジャ、その繊細かつ大胆さが世界を動かすことを赤ジャは体現してくれた。「赤のハート」を引き継ぎ、どんな進化を遂げてくれるのか、緑と青が紡ぎ出す西中2026ストーリーが心から楽しみだ…。

2026.3.13義務教育最後の日…「森羅万象のありがとう」と「雲外蒼天のさようなら」に満たされた富士見市立西中学校最高の1日にしてほしい…。133名の赤ジャ卒業生の皆様、ご卒業を心よりお祝い申し上げます。(富士見市立西中学校長 堀川 博基)

赤いハート133名…ご卒業おめでとうございます



赤ジャのよいところは…
真面目、素直、克己、熱い、賢い…
そして、あきらめがわるいこと…

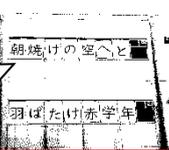
1・2年生よ！準備をありがとう



1・2年生が赤のために一生懸命準備した！



朝焼けの空へと、羽ばたけ赤学年！



西中生の、西中生による、卒業生のための…三送会 / 2026.03.05

タイムマシンで登場



3年生は♪『エール』を歌う…

2年生は♪『友』を…

1年生は♪『3月9日』を…

心を燃やせ！

3/5…卒業生、赤ジャのテンションは、徐々にはっきりと見えつつあるゴールテープに向かいラストスパートをかけるため、爆上がりする。明日(3/6)は埼玉県立高等学校入学許可候補者発表日だというのに…。

体育館は令和7年度の394名全生徒が集う、多分人生最後の日に、さみしさと興奮が入り交じる独特の雰囲気にも包まれていた。三送会…それは生徒が自らの手で、「喜び」と、「切なさ」と、「うれしさ」と、「感謝」を伝え、新年度に向け「卒業」と「進級」の節目を迎えるための先輩と後輩の儀式的様なものでもある…。

生徒会と1・2年生は3学期をほぼこの準備に費やしている。■体育館を飾る「ピンクのハート」「虹の架け橋」「先輩へのメッセージ」は、2年間の強い絆と、それだけ迷惑をかけた緑ジャからの心からの感謝だ。■吹き抜けにはタイムトンネル…赤ジャの過去の写真をきれいに掲示し、卒業生の成長がひと目で確認できる。このタイムトンネルを潜り抜け、体育館にタイムマシンに先導され入場する。青ジャの粋な計らいだ。■青ジャの発表は、ドラえもんをモチーフにタイムトラベルを繰り広げる。今だから笑えるエピソードを1年生なりに先輩へのリスペクトを込めて表現してくれた。1年生すべての気持ちを歌詞にのせた『3月9日』の合唱…。瞳を閉じれば永遠にこのシーンが繰り返される…。■緑ジャも恒例のエピソードの発表ではじけていた。大好きな先輩にしっかりと切り、恥ずかしさを投げ捨て体育館を爆笑の渦に巻き込む。シュールな笑ひも卒業生はしっかりと受け止めてくれた。『友～旅立ちの時～』…緑ジャの奏でる合唱からは先輩への「感謝」しか感じられなかった。■そして、3年生の惜別のパフォーマンス…TV仕立てで自分たちのやらかしを懺悔？する。そして『エール』の大合唱。次に西中を支える後輩たちへの再考の励みであり、応援であった。そして私には、それぞれの道を歩みだす4月からの自分たちへの『エール』にも聞こえた…。本当に真面目で、真剣な赤ジャだ…後輩たちへの想いが幾重にも重なり、1時間余りのパフォーマンス…いつ終わるのか多少心配になったが、赤ジャが「赤」たる所以をしっかりと伝説として残していた。

別れは間違いなく人を成長させる。「さよなら」が1・2年生を少し大人へと近づける。西中のバトンはもう1・2年生の手中にある。赤ジャの想いをしっかりと受け継ぎ、西中50年に向けた滑走路を滑り出してくれ。さあ、赤ジャ133名の卒業生よ…。3/13という明日を世界最高の幸せを感じられる日にしてほしい…いや、必ずするぞ！…そんな、卒業生・在校生・教職員の心がかよう三送会だった。

令和7年度 西中学校表彰

■埼玉県教育委員会生徒表彰

／○○ ○○

■埼玉県体育協会体育優良生徒

／○○ ○○ ／○○ ○○

■埼玉県産業振興会中学校優良生徒

／○○ ○○

みんなの頑張りは全校生徒が知っている。君たちは西中の誇りだ…。中学3年間の努力の証だ。胸を張り賞状を掲げ、これからの糧にしてくれ。3年間、お疲れ様、そして、表彰おめでとうございます。

令和7年度卒業生保護者及び地域の皆様へ

富士見市立西中学校長 堀川博基

赤ジャ133名の卒業まで、いよいよ最終カウントダウンに入りました。何より無事にこの「晴れの日」を迎えられるのは、子供たちに対する、保護者の皆様の海よりも深い愛情、ご家族の皆様の大地よりも広大な優しさ、そして、地域の方々の方々の太陽の様な包み込むあたたかさ…があっての賜物と、あらためまして感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

赤ジャの生徒たちは本当に素直な生徒たちです。大人の忠告や教員の指導を自ら咀嚼し飲み込みます。赤ジャの生徒たちは本当に真面目な生徒たちです。やらねばならないことを自分なりに見極め、最後までやり遂げます。赤ジャの生徒たちは本当に賢い生徒たちです。やらねばならぬことを主体的に考え、自ら踏み出し一歩前へ踏み出すことができます。本当に逞しい生徒たちでした。これも保護者、家庭、地域の皆様方の子供たちを支える深い愛情と、地元の西中を支える深い思いからだ、心より感謝申し上げます。

皆様方のご期待にそえる教育ができたかは、疑問ではございますが、皆様の願に応えられるよう全力は尽くして参りました…。ずいかしかもしれませんが…西中教育の成果は数年後に開花すると考えています。先行き不透明な時代に、少しでも自分の幸せに向けて足を進めることができたなら…。今の私は幸せだと感じることができたら…。隣にいる人の幸せに共に感動できたら…。「それはこの3年間の教育の成果でもある…」と自負しております。至らない3年間でもありましたが、皆様のご支援のおかげで、何とか明日を迎えられることができそうです。私の着任と同時に西中に入學された赤ジャ133名の生徒は、私の一生の宝であり、希望でもあります。お元気で…。また、保護者・地域の皆様にも大変お世話になりました。心より御礼を申し上げ、あいさつとさせていただきます。本当にありがとうございました。

令和7年度 第47回卒業式 指揮、伴奏者

■校歌斉唱

指揮／○○○○ 伴奏／○○○○

■卒業生・在校生合唱『旅立ちの日に』

指揮／○○○○ 伴奏／○○○○

■卒業生合唱『群青』

指揮／○○○○ 伴奏／○○○○

義務教育最後の大役…任せたぞ…。9年間の想いを込めて、渾身に腕を振れ！ 9年間の努力を振り返り…悔いなく鍵盤をたたけ…。この仲間、この場所で、合唱を奏でるのは、明日が人生で最後だ！レジェンドをつくらう…。

■■■15年目の3.11■■■

卒業式予行終了後…15年目の3.11(東日本大震災)を追悼して全校集会を実施した。今年卒業する3年生は、あの15年前に産声を上げた子供たちだ。その偶然に十字架を背負わせるわけでも、プレッシャーを与えるわけでもないが…赤ジャの生徒たちは「震災の年に生まれた子」と言われ続ける…。

でも、それは君たちへの期待と、のぞみと、夢と、希望の表れだ…。君たちらしく自由に、希望を膨らませ前進してほしい。ただ、ひとつ願いはある。集会でも伝えたが…

■この事実(東日本大震災があった)を忘れないでほしい

■この事実を伝えてほしい

■命を大切にしてほしい

…特に最後のひとつは絶対だ！「命を大切にしろ」。3.11には毎年集会を開いているが…卒業直前のこの時期に大災害が発生したことに、何かしらの意味を感じてしまうのは私だけであろうか…。被災された皆様、あらためてましてお見舞い申し上げます。